



TokyoTobihino ROTARY Club

会長
テーマ

ロータリーの存在をアピールしよう!!



会長 藤野益夫



幹事 朝倉邦雄

国際ロータリー第2750地区 多摩南グループ
東京飛火野ロータリークラブ

2012-13 Weekly Report vol.25-26

2013年3月13日 第1147回 東京飛火野RC・東京日野RC合同献血例会 於:高幡不動尊客殿



献血例会は両クラブが合同で早春に行う社会奉仕プログラムの大きな柱と位置づけられています。本年は東京日野RCが当番で早朝から両クラブ会員が準備に加わり例年通り高幡不動尊境内に日赤の献血車が配備され、午前が10:00~11:45まで昼食休憩を挟み13:00~15:30まで行われた。チラシで「みんなの優しさを分けてください!」とけんけつちゃんが大きな瞳で呼びかけ、「一人ひとりの愛が、大切な命を守ります。」と献血を訴えます。ターミナル駅でも通年で献血ルームを設け日赤の職員さんが大きな声で献血を呼び掛けていますが、応じる人は少なく血液を必要とする患者さんに十分応えられていないのが現状のようです。また、会場に訪れる人の中には検査目的の方もいるようでエイズウィルス感染の可能性のある方および検査が目的の方、肝炎感染の可能性のある方、輸血を受けたことのある方、マラリアの流行地から帰国されて1年以内の方、マラリアの既往ある方は献血後ご遠慮下さい、と日赤が注意を喚起しています。会場で献血された血液は血液センターで色々な血液成分(赤血球・血漿・血小板)に調整され患者さんの症状に合わせ必要な成分だけを輸血しています。患者さんに“より安全な血液”をもとめています。また、チラシの「けんけつちゃんひみつ」コーナーのハートマウンテン

の解説文にこの島に住む妖精達はみんな困っている誰かを助けることが仕事。島の中心には「ハートの泉」が湧き出しています。献血をされご希望の方には血液センターが全ての献血者に血液検査(生化学検査)を行うため、献血者が体の健康状態の把握をすることが出来ます。その際血液型も判定します。またその結果は本人にのみお知らせするようになっています。自分では気付かなかった病気が献血時の検査で見つかり早く適切な治療を受けることで大事に至らなかったケースも数多くあります。午前と午後を通じ大勢の市民・クラブ関係者・会員の皆さんにご来場いただき献血にご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。今年も奉仕活動に参加された両クラブの皆様ありがとうございました。

▼当日申込者数46名 200ml献血10名
400ml献血30名 献血者40名 でした。

| 出席報告 | 総数 | 出席 | MU前 | MU後 | 欠席 | 出席率 |
|--------|----|----|-----|-----|----|--------|
| 第1147回 | 29 | 20 | 4 | - | 5 | 82.75% |
| 第1145回 | 29 | 21 | 5 | 0 | 4 | 86.2% |

※今週のメイクアップ

堀邊さん 水野さん 熊澤さん 小高さん

※先々週の後メイクアップ なし

2013年2月27日 GSEメンバーと日野自動車工場見学・懇親会 於:うかい鳥山



2月27日日野RC例会後、日野自工組立ライン見学、2月10日来日メンバー・リーダー6名と通訳として広尾RCのアラン・ヴァクシアルさんと地区役員含め8名が見えた。最初に英語版のPR用会社案内ビデオを見て、いま、従業員12,000名で日野工場は2,500名。日野工場は大型車エンジン製造と大型・中型トラック生産、羽村工場はトヨタの乗用車受託生産・小型トラック生産、新田工場は部品製造・古河工場は海外向けの部品製造と各工場の業態をご説明いただいた後、ライン見学。シャーシーに部品が取り付けられエンジンが着いた後、座席キャビンが取り付けられ、直径1m・重量100kのタイヤが（ゴム本体のみ）着いて完成エンジンテスト走行テストの後、水漏れテストをして車両本体が完成。それぞれの用途で搬送用荷台メーカーへ納品され荷台が付けられる完成とのこと（貨物用荷台

・輸送ボックス、消防車仕様等。）

部品の積まれた輸送車が中央のライン上の動くシャーシーと並行して走り、分刻みの組立作業が行われ工程の随所に目に付く遵守すべき内容が表示された看板が目立ち、更に全体に判る工程管理看板が置かれトラブル発生を未然に防ぐ対応が取られていることに注目した。車輛の安全安心の基本が常に点検されていることを認識した。

見学終了後、予定を省略して懇親会会場の「うかい鳥山」へ、グループ内各クラブから駆けつけた多くの会員の出席の下、渡邊地区幹事の司会挨拶、多摩南グループ中込ガバナー補佐エレクトの歓迎挨拶で始まった宴会は、終始打ち解けた雰囲気できれいに懇談した。来日されたメンバーも喜ばれたことと思います。

2013年3月10日 日野消防少年団(BFC)技能発表会 於:日野市教育センター

早川団長の挨拶の後、団員24名が日頃の訓練で習得した技能を発表。最初にロープを用いた災害発生救助時の結わき方・三角巾を用いた額のキズ処置。初期消火で消火器による消火訓練。続けて心肺蘇生法として、119番への通報から救急隊が駆けつけるまでの人工呼吸・AEDの使用法、火の用心の見回り活動等、最後の総合訓練では、火災発生を想定し電話で火災発生現場位置を119番へ通報⇒消火器による初期消火⇒けが人救助搬送⇒人工呼吸・AED使用⇒D級ポンプによる消化活動・誘導・消火状況報告。と流れを見させていただきました。指揮者の指令に機敏に応え行動する団

員の姿が光り輝いていました。

3/10は東京大空襲の日、3/11東日本大震災から2年を迎えようとしている今、子供達のこうした活動が予想される首都圏直下型大震災に必ず役立つと思いました。早川団長を始めスタッフ・保護者・日野消防署ご担当の日頃団員に向けるきめ細やかな指導と愛情を深く感じました。日野消防少年団育成委員長の高橋日野消防署長の挨拶の後、来賓の都議から東京都では消防少年団員をこれから倍の6,000人にする予算を計上すると力強い支援の挨拶がありました。

2013年3月12日 IM実行委員会総括会議 於:京王プラザホテル

水野ガバナー補佐、渡邊グループ幹事、小島実行委員長、志賀副実行副委員長、加藤高白コーディネーター、野口パネラー他実行委員7名の出席で、当日の状況

・反省点などを話し合った後決算案を承認した。決算書は各クラブには事務局から送付します。尚、写真もCD-Rで送ります。